



のぶちゃんのべすとしよっと



南北朝合戦の模様を伝える「太平記」の舞台になった世田山のふもとにひらく梅檀寺・世田薬師の金堂の上棟会がありました。



せんだんじ じょうとうかい
『梅檀寺・世田薬師金堂の上棟会』



メインは、「槌打ちの儀式」と「棟札取り付けの儀」です。古式ゆたかに金堂上部にて大工棟梁が儀式を行い、山主が願文を奉呈、参列者が玉串を奉奠(ほうてん)し儀式を終えました。令和2年度の完成を目指しているそうです。奈良時代初期の建築様式により建立されているという金堂に時の流れを感じ、何百年先もこの行事が行われることを願わずにはいられませんでした。
(オンリーワン 山内信子)

僕のつぶやき

今回紹介するラーメンは“**麺場 田所商店**”という味噌ラーメン専門店の江戸前ラーメンです。ここは北海道味噌、伊勢味噌、江戸前味噌など何種類もの味噌スープを選べます。

スープは程よく甘く、濃い味わいのあるスープです。甘さの中にある少しの辛味がよりスープの旨さを際立たせます。麺はもっちりとした縮れ麺で、歯応えと喉ごしは共に良い。味噌スープが麺によく絡み、一気に吸ると濃厚な味噌の香りが口の中に広がります。トッピングは味噌スープの種類で変わったりします。江戸前だと大海苔やあさりの身などが入ってますね。大海苔はそのまま食べても良いですが、味噌スープに溶かして麺と共に吸ると、より美味しくいただけます。写真にある焼き味噌チャーシューは追加のトッピングで、一枚120円で追加しました。分厚くしっかりとした歯ごたえで、焼いたことで芳ばしさが凄いです。噛めば噛む程に旨く感じられます。是非ご賞味あれ。

あっつい夏！皆さんも様々なラーメンを楽しんで元気に過ごしましょう。水分補給もお忘れなく！
(オンリーワン 今城 駿)



江戸前味噌ラーメン

編集後記

毎日暑いですね。いかがお過ごしでしょうか。オンリーワン令和2年夏号がこの度発刊できました。NONちゃん倶楽部についてはまだまだ書き足りないすてきな活動があり、タンデム自転車っていいなぁと感じました。そして、ラーメンも食べたくなりますね。暑い日が続きますが体に気をつけて、それぞれができる新型コロナウイルス対策を続けていきたいと思います。

(オンリーワン 黒河 亮)

発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内
TEL：0898-64-2600 (代) FAX：0898-64-3920 E-mail：soudan4-saijo@saijoshakyo.or.jp



西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）機関紙

オンリー



バリアフリー
ペーパー

夏号

令和2年7月28日発行

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、共同で作成したものです。

暑い日が続きますが、お変わりなくお過ごしですか。今年の春はコロナウイルスのため、みなさんも仕事やご家庭などで色々と不自由な思いをされたのではないのでしょうか。ドラッグストアで当たり前に売られていたマスクの品不足に始まり外出自粛や学校の長期休校、何よりも今頃は盛大に行われていたはずの東京オリンピックの延期、西条祭りも一部中止や規模縮小となりました。数えあげたらきりが無いです。幸い今のところは西条市に陽性の方は出ていませんが、今後も『手洗い、消毒、咳エチケット』を続けていきましょう。
(在宅福祉課 平井)



聴覚・視覚障がい者料理教室が開催予定です



対象者：聴覚・視覚障害者手帳をお持ちの方

同じ障がいのある方と一緒に調理方法や栄養管理を学びませんか？

【場所】聴覚障がい者料理教室（西条会場のみ）

・西条市総合福祉センターB棟2階栄養指導室（西条市神拝甲 324 番地 2）

視覚障がい者料理教室（西条会場及び東予会場）

・西条市総合福祉センターB棟2階栄養指導室（西条市神拝甲 324 番地 2）

・西条市東予総合福祉センター2階調理実習室（西条市周布 606 番地 1）

【時間】9時30分から13時まで

【定員】各教室先着18名

【申込期限】各開催日の1週間前まで

【参加に際して必要なもの】エプロン、三角きん、マスク

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止・変更となる場合があります。詳しくは下記の問い合わせ先にご確認ください。

【問い合わせ先】西条市役所 社会福祉課 障がい者福祉係

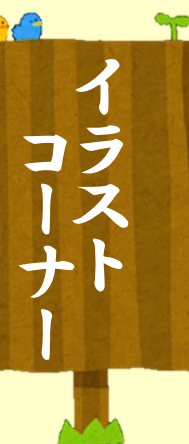
TEL：0897-56-5151（代表） FAX:0897-52-1294

コロナウイルスのせいで
予定が大幅に変わっ
たわ、これからね。美
味しい料理をたくさん
習ってね♡

おいちも、
行きたいぞ



		令和2年 9月	10月	11月	12月	令和3年 1月	2月	3月
西条会場	聴覚障がいの方(すべて月曜日)		26日		21日		15日	
	視覚障がいの方(すべて火曜日)		27日		22日		16日	
東予会場	視覚障がいの方(すべて火曜日)	29日		24日		26日		23日



題名：不思議な乗り物
作者：山内慎介

子どもが好きそうな、おもしろい空飛ぶ乗り物を考えながら描いてみました。結構楽しめるイラストに仕上がったと思います。

のNONちゃん倶楽部

Q.タンDEM自転車って
なんですか？

A.複数のサドルとペダルを装
備し、複数人が前後
に並んで乗り同時に
駆動することができる
自転車のことです。

ナル
ホド



「タンDEM自転車NONちゃん倶楽部」の活動のきっかけは理事長である津賀さんの夫徳行さん（NONちゃん）が、46歳で視覚障がいになり、障がいがあってもタンDEM自転車で「風」を切って走りたいと思ったことが始まりでした。しかし、道路交通法の壁があり夢果たせぬまま63歳で旅立たれました。その翌年（平成22年8月1日）愛媛県が全国で4番目にタンDEM自転車の走行許可が下りたことがきっかけとなって始まった活動です。「心のバリアフリー社会の実現」に繋げていきたいという想いから始まった民間非営利活動団体です。



タンDEM自転車NONちゃん倶楽部の活動に参加したことのある方から、西条市の皆さんに是非紹介したいとの連絡をいただきました。

代表の津賀さんは実際お会いしてみると大変パワフルで明るく、情熱を感じさせてくれる方でした。今年69歳になるとはとても思えないほど若々しくパワー全開の方でした。

津賀さんは「今後、東予地域でもタンDEM自転車の理解と促進をはかり、閉じこもりがちな障がいのある方の可能性を探っていきたい」と語って下さいました。



理事長
つかおる
津賀 薫さん

この活動が10年目に突入した今、振り返って思うのは「人ってなんて素晴らしいのだろう！」ということ。NPOの活動は資金の確保が悩みの種ですが、年間のべ約600人のボランティアの方たちに支えられここまでの活動ができており感謝しています。行政・民間企業・町の自転車屋さん・サイクリスト・同級生や地域の方々など、15～91歳までの幅広い年齢層の方たちに「自分にできること」をお手伝いいただき、年間のべ約500人の障がい者家族と交流を深めています。

（津賀さん）

NONちゃん倶楽部は国土交通省の 自転車活用推進功績者に選ばれ表彰されました。

2020年7月17日東京都の国土交通省で行われた表彰式では、赤羽大臣からNONちゃん倶楽部に表彰状が手渡されました。自転車活用推進功績者表彰は国土交通省が自転車の活用や発展に貢献した個人や団体に贈る賞です。同倶楽部はタンDEM自転車の普及につとめ地域の防災訓練において、二人乗りの三輪自転車を高齢者の避難手段として活用するなど、自転車を通じた社会貢献が評価されました。

タンDEM自転車講習会 in 運転免許センター



障がい者がサイクリングをより安全に安心して楽しめるために、毎年更新される交通ルールを確認します。体験会では2、3人乗りのタンDEMや手こぎ式など5種類の自転車に試乗。パイロット（最前部に乗車する人）は「止まるよ。3、2、1」「左に曲がるよ」と声を掛けながら自動車練習場を走るそうです。

命守る 障がい者の避難手段



「避難困窮者に可能性と夢を!!」「南海トラフに備え置き去りゼロに!!」というテーマで、障がい者や高齢者など、自力での避難が難しい方に「自転車を利用した避難」によって命が助かる可能性があることを提案し、避難訓練の実施に取り組んでいます。重度の身体障がいのお子さんをもつお母さんは今回の訓練で高機能三輪自転車で避難できた時、「災害時に『避難』のことは考えないでおこうと思っていた。避難できることが分かって嬉しい。」と笑顔で言われたそうです。

サイクルチャレンジ in 競輪場



減多に入ることができない競輪場のバンクには、タンDEM自転車・車イス自転車・ハンドサイクルとビーチスター・車いす電動アシスト自転車（高機能三輪車）等車種も様々で重度障がいを持つ子供さん達が競輪選手やサイクリストとバンクを走り、親御さんはタンDEMで並走しながら我が子の笑顔を近くで見ることが出来ます。また普段は食べることでできない選手専用のカレーを頂いたり、サウンドテーブルテニス、輪投げ、知恵の輪木工、折り紙等を楽しまれたそうです。（*´▽`）

タンDEMと水上バイクを楽しむ in モンチッチ海岸



ビーチスター
（水陸両用車いす）



全身で夏を満喫！
“やればできる”

松山市中心市街地にある NON ちゃん倶楽部からモンチッチ海岸までの片道20km を往復走行します。6人の視覚障がい者と共に松山市街地から北条地区までの国道 196 号線を走行していきます。午前中は立岩川に沿ったコースを往復 8km サイクリングで風を切って走ります。

昼食後はいよいよマリニレジャーのプログラムです。300馬力のパワーボートで鹿島沖合までハイスピード体験などを行ったり、お約束のバナナボート転覆も楽しみのひとつとなっているそうです。

一番人気は水上バイクだったそうです。普段外に出ることが少ない皆さんは夏を思いっきり感じて大喜びだったそうです。

左の写真は平成 30 年に「避難困難者に可能性と夢を!!」とのテーマを掲げて車両競技公益記念財団の助成金で購入できた「ビーチスター」です。水陸両用なので「サイクルチャレンジ in 競輪場」でもお披露目されていたようです。水陸両用自転車…乗ってみたいと思いませんか。（*´3`）♡

イベントに参加された方々が風をしっかりと感じ、心から楽しんでくれている表情が津賀さんには宝物なのだそうです。

お問合せ ☎ 09031895918 ✉ earth.worm@nifty.com
<https://nonchan.c.lub> 〒790-0877 愛媛県松山市錦町 2-2

水上バイク



スーパーマール



バナナボート



パワーボート



ビスケット



投稿
コーナー

作品
募集中

題名：『鷹と私』
作者：真部信輔

僕は、ペットを飼って
いませんが、「もし、ペット
で鳥を飼っていたら…」と想像して描きました。
帰宅して直ぐにエサをあげようと思っている飼い主の
自分と、鳥がエサを欲しがっている様子です。作品
で大変だったのは、鳥の体の形と何色を使うか考えた
事です。

